

山田大使のアルメニア大地震慰霊祭出席

12月7日、山田大使は1988年に生じたアルメニア大地震の慰霊祭に参加するため当時の震源地に近いスピタクを訪問しました。当日はパシニャン首相、ハルチュニャン教育相ら政府要人も参列し、アルメニア大地震の犠牲者を追悼するハチュカル(石の十字架)、2011年の東日本大震災の追悼ハチュカル、今回新たに除幕式が行われたカーク・カーコリヤン(「ラスヴェガスの父」と称されるアルメニア系米国人富豪で、大地震後に多大な支援を実施した)の胸像に、それぞれ献花を行いました。



アルメニア大地震慰霊碑



カーコリヤンの胸像に献花するパシニャン首相



東日本大震災の犠牲者を追悼するハチュカル



バリヤン次官、非常事態省の緊急隊員と



バリヤン次官と東日本大震災慰霊碑前で



サハキャン・スピタク市長, ガブリエリヤン大佐
(東日本大震災慰霊碑建立の発起人),
バリヤン非常事態省次官